

PHS使用に関するアンケートのお願い(その1 毎日記載)

記入日：2009年 12 月 14 15 16 17 18 日 (○印をつけてください)

氏名：() 使用したPHS番号：()

所属：()

職務：①副看護部長 ②看護師長 ③リーダー ④リーダー以外 (○印をつけてください)

1、 使用中PHSの種類はどちらですか？

①ナースコール対応 ②ナースコール非対応

2、 PHS通話記録 (できる限り通話記録を記入します。業務中断の場合は業務中断に○印をつけてください)

	時間(A)	相手番号(B)	場所(C)	業務(D)	業務中断(O)
例	10:30	90146	④	⑱ 休憩中	○
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

*参考

場所(C)：①病室 ②スタッフステーション ③診察室 ④処置室・検査室 ⑤準備室(注射) ⑥説明室(患者面談室) ⑦浴室 ⑧トイレ
⑨食堂(配膳室) ⑩カンファレンス室 ⑪スタッフルーム ⑫会議室 ⑬管理室 ⑭エレベーター ⑮廊下 ⑯手術室(小手術室含む)
⑰透析室 ⑱その他(具体的にご記入下さい)

業務(D)：①外来対応中 ②救急患者対応中 ③病棟回診中 ④配膳 ⑤会議中 ⑥カンファレンス中 ⑦勉強会中 ⑧患者面談中
(アナムネ、IC、指導など) ⑨スタッフ間の対応中 ⑩看護ケア業務中 ⑪注射業務(患者実施) ⑫注射業務(注射準備) ⑬与薬
業務(患者実施) ⑭与薬準備業務 ⑮採血中 ⑯患者移送中 ⑰処置実施中 ⑱電話中 ⑲記録中(カルテ入力など) ⑳その他
(具体的にご記入下さい)

PHS使用に関するアンケートのお願い(その2 一人一枚)

3、 PHSを受けて困るときはどんなときですか？次の中に○印をつけてください。(複数選択可)

- ①外来対応中 ②救急患者対応中 ③病棟回診中
④配膳 ⑤会議中 ⑥カンファレンス中
⑦勉強会中 ⑧患者面談中(アナムネ、IC、指導など)
⑨スタッフ間の対応中 ⑩看護ケア業務中 ⑪注射業務(患者実施)
⑫注射業務(注射準備) ⑬与薬業務(患者実施) ⑭与薬準備業務
⑮採血中 ⑯患者移送中 ⑰処置実施中
⑱電話中 ⑲記録中(カルテ入力など)
⑳その他()

4、 どんな場所で、PHSを受けて困りますか？次の中に○印をつけてください。(複数選択可)

- ①病室 ②スタッフステーション ③診察室
④処置室・検査室 ⑤準備室(注射) ⑥説明室(患者面談室)
⑦浴室 ⑧トイレ ⑨食堂(配膳室)
⑩カンファレンス室 ⑪スタッフルーム ⑫会議室
⑬管理室 ⑭エレベーター ⑮廊下
⑯手術室(小手術室含む) ⑰透析室
⑱その他()

5、 PHSの院内使用を制限すべき場所はどこだと思いますか？次の中に○印をつけてください。(複数選択可)

- ①病室 ②スタッフステーション ③診察室
④処置室・検査室 ⑤準備室(注射) ⑥説明室(患者面談室)
⑦浴室 ⑧トイレ ⑨食堂(配膳室)
⑩カンファレンス室 ⑪スタッフルーム ⑫会議室
⑬管理室 ⑭エレベーター ⑮廊下
⑯手術室 ⑰透析室 ⑱ICU/CCU
⑲中央採血室 ⑳中央検査室 (21)リハビリステーション
(22)その他()

6、 その他、PHS通話による業務中断に関するご意見やご感想を述べて下さい。

C. 研究結果

1. 結果の概要

回答記入者は79名、内訳は副看護部長3名、看護師長5名、副看護師長3名、看護師68名であった。

これらの対象者における回答に示されたPHSへの着信の延べ回数は1472件であった。

分析結果は図・表の2-1から2-7、3-1から3-5-14に示した。

D. 考察

2. アンケート結果について（総括的検討）

2-1. アンケート実施状況について

実施日は、年末の多忙の時期であったが、12月中旬の1週間をお願いし、PHS種別としてはナースコール対応と非対応に関する種別についても調査した。非対応は主に、看護師長などの管理者が所有している。（表2-1、図2-1）

2-2. PHS使用した場所について

全数の1500件中、1/3がそれぞれ病室、もしくはナースステーションであった。管理者と思われるが、管理室での使用がその次に多く、廊下での使用も多かった。移動中にも使用していることがうかがえた。（表2-2、図2-2）

2-3. PHS使用中の業務について

記録中（カルテ入力など）と看護ケア業務中にPHS使用したケースがトップ2であった。また、注射業務（患者実施）、注射業務（注射準備）、与薬業務（患者実施）、与薬準備業務などは、それぞれ、全体の2～4%ではあったが、PHSによる業

務中断の影響は大きいと推察される。（表2-3、図2-3）

2-4. 業務中断されたか否かについて

業務中断の有無についても調査を行った。全体の約6割が何らかの中断があったと答えている。適切なPHS使用ルールの策定、受信者側の状態

（プレゼンス）が送信者側に情報として伝わる仕組み、あるいは、プレゼンスによる自動的制御などの検討が必要であることが示唆される。（表2-4、図2-4）

2-5. PHSを受けて困る状況について

処置実施中、注射および与薬関連業務中にPHを受けると実際に困る、あるいは困るだろうと推測するという件数が多い状況である。（表2-5、図2-5）

2-6. PHSを受けて困る場所について

病室が突出して多いが、トイレ、浴室なども気になる場所として、件数が上がっている。また、エレベータの中というのも特徴的である。（表2-6、図2-6）

2-7. PHSの使用制限をかけた方がよい場所について

患者説明室や会議室が最も多く、話をしている途中でのPHSによる中断を制限してほしいということであろう。（表2-7、図2-7）

表 2-1. アンケート実施結果（記入日、PHS種類、職務）

記入日	件数	PHS種類	件数	職務	件数
2009/12/14	266	①ナースコール対応	985	①副看護部長	119
2009/12/15	317	②ナースコール非対応	398	②看護師長	194
2009/12/16	256	合計	1383	③リーダー	263
2009/12/17	234			④リーダー以外	783
2009/12/18	393			合計	1359
合計	1466				

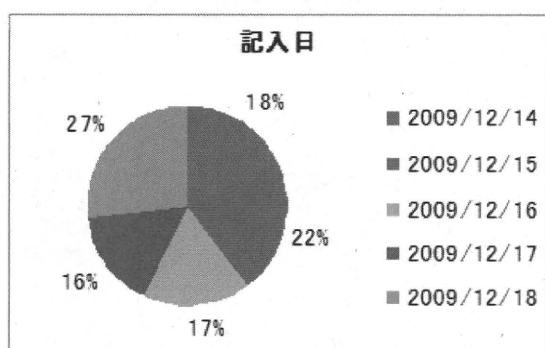


図 2-1. 記入日について

表 2-2. アンケート実施結果 (場所別統計)

場所	件数
①病室	525
②スタッフステーション	563
③診察室	7
④処置室・検査室	10
⑤準備室(注射)	16
⑥説明室(患者面談室)	11
⑦浴室	3
⑧トイレ	5
⑨食堂(配膳室)	4
⑩カンファレンス室	8
⑪スタッフルーム	43
⑫会議室	28
⑬管理室	103
⑭エレベーター	3
⑮廊下	77
⑯手術室(小手術室含む)	0
⑰透析室	0
⑱その他()	62
合計	1468

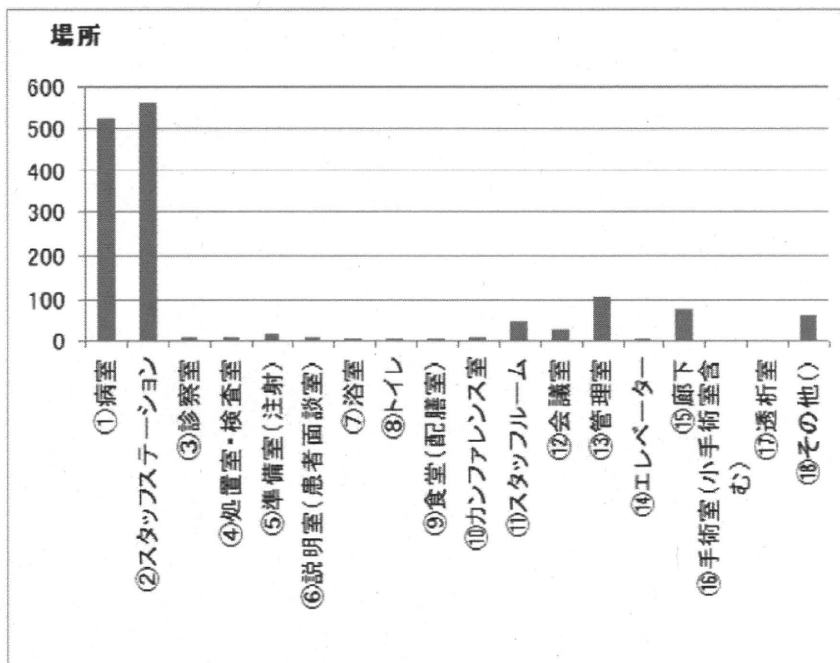


図 2-2. 場所別統計について

表2-3. アンケート実施結果(業務別統計)

業務	件数
① 来対応中	2
② 救急患者対応中	1
③ 病棟回診中	88
④ 配膳	22
⑤ 会議中	28
⑥Aカンファレンス中	25
⑥B処置実施中	32
⑦勉強会中	2
⑧患者面接中(アナムネ、IC、指導など)	50
⑨スタッフ間の対応中	114
⑩看護ケア業務中	284
⑪注射業務(患者実施)	55
⑫注射業務(注射準備)	58
⑬与薬業務(患者実施)	56
⑭与薬準備業務	25
⑮採血中	13
⑯患者移送中	17
⑰電話中	15
⑱記録中(カルテ入力など)	309
⑲その他()	226
合計	1422

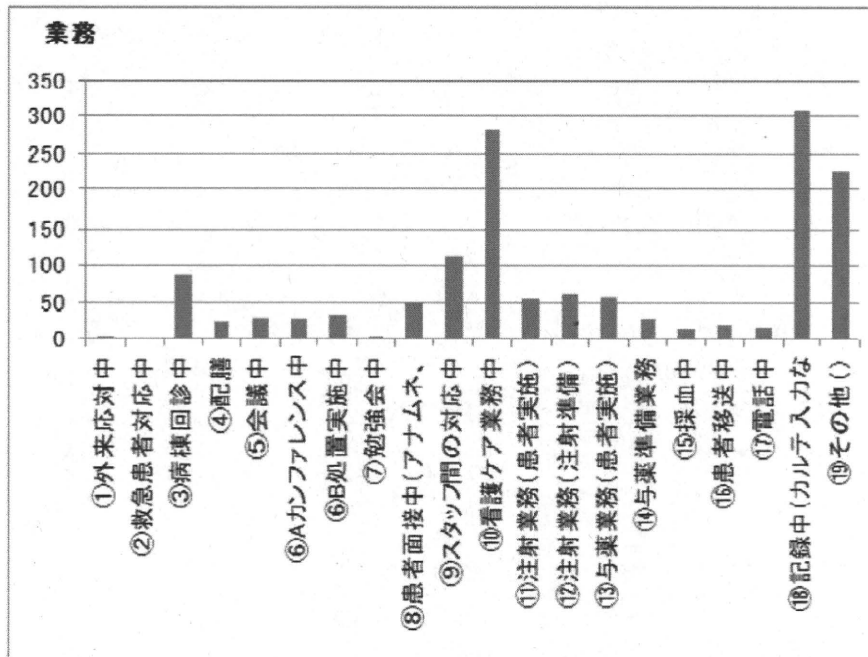


図2-3. 業務別統計について

表 2-4. アンケート実施結果
(業務中断別統計)

業務中断	件数	割合
	577	0.3936
○	889	0.6064
全件数	1466	

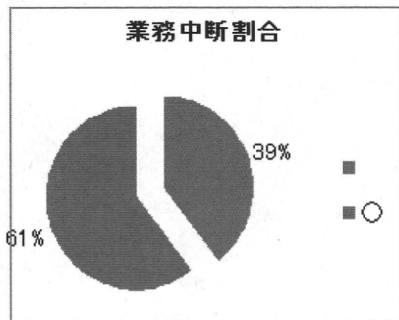


図 2-4. 業務中断別統計について

表2-5. アンケート実施結果
(PHSを受けて困る状況に関する統計)

PHSを受けて困る時	件数
② 来対応中	4
②救急患者対応中	24
③病棟回診中	5
④配膳	4
⑤会議中	15
⑥Aカンファレンス中	16
⑥B処置実施中	50
⑦勉強会中	14
⑧患者面接中(アナムネ、IC、指導など)	45
⑨スタッフ間の対応中	8
⑩看護ケア業務中	48
⑪注射業務(患者実施)	52
⑫注射業務(注射準備)	38
⑬与薬業務(患者実施)	31
⑭与薬準備業務	37
⑮採血中	55
⑯患者移送中	13
⑰電話中	24
⑱記録中(カルテ入力など)	3
⑲その他()	2
合計	488

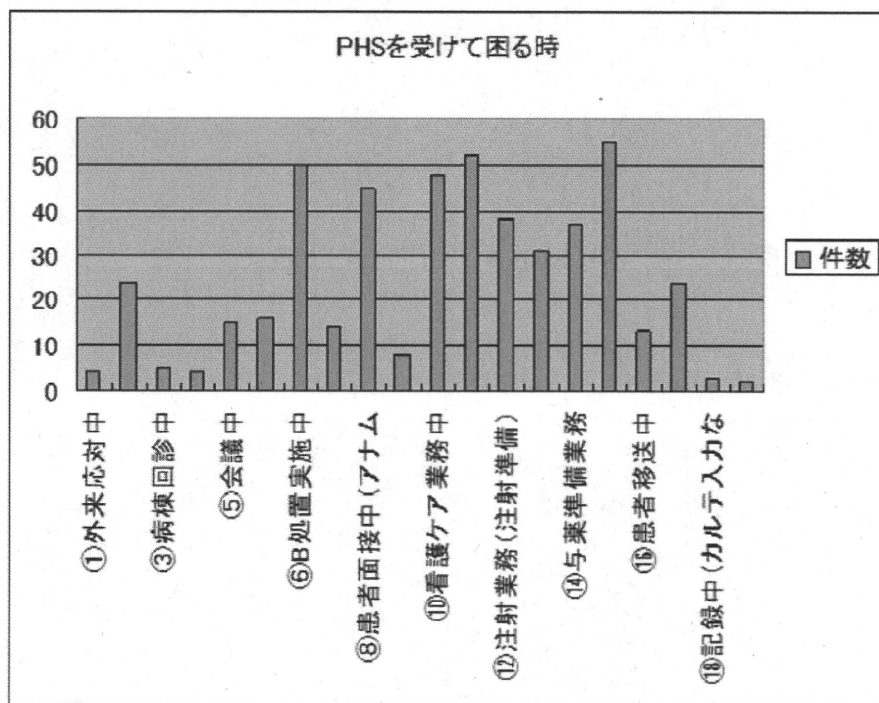


図2-5. PHSを受けて困る状況に関する統計について

表2-6. アンケート実施結果 (PHSを受けて困る場所に関する統計)

PHSを受けて困る場所	件数
① 病室	44
② スタッフステーション	4
③ 診察室	6
④ 処置室・検査室	12
⑤ 準備室(注射)	12
⑥ 説明室(患者面談室)	23
⑦ 浴室	27
⑧ トイレ	30
⑨ 食堂(配膳室)	0
⑩ カンファレンス室	7
⑪ スタッフルーム	1
⑫ 会議室	12
⑬ 管理室	2
⑭ エレベーター	26
⑮ 廊下	7
⑯ 手術室(小手術室含む)	3
⑰ 透析室	1
⑱ その他()	3
合計	220

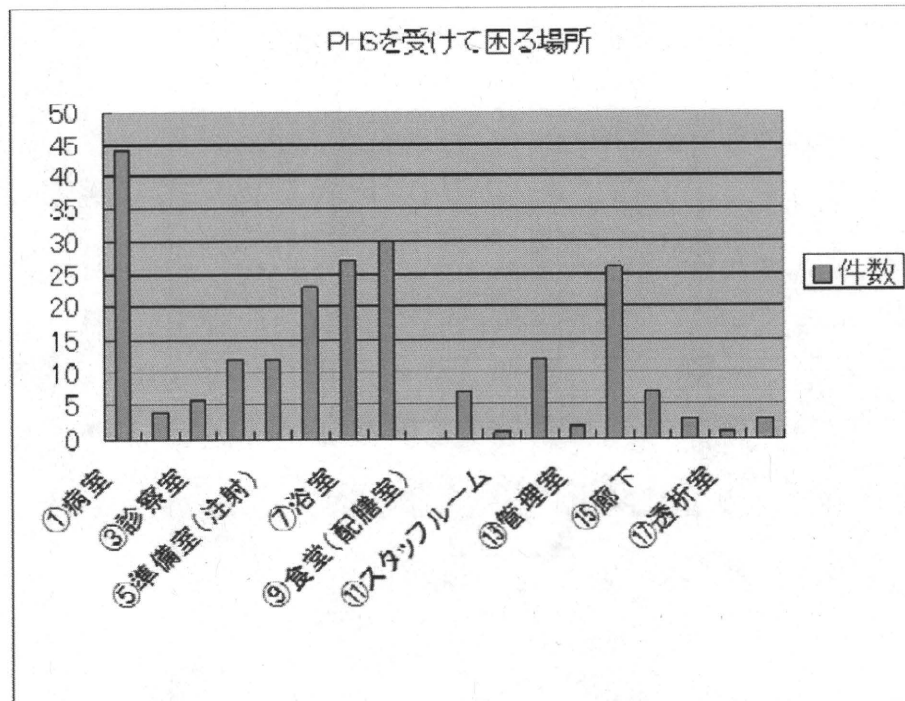


図2-6. PHSを受けて困る場所に関する統計について

表 2-7. アンケート実施結果 (PHS使用制限場所に関する統計)

PHS使用制限場所	件数
①病室	10
②スタッフステーション	0
③診察室	5
④処置室・検査室	9
⑤準備室(注射)	8
⑥説明室(患者面談室)	18
⑦浴室	5
⑧トイレ	8
⑨食堂(配膳室)	1
⑩カンファレンス室	4
⑪スタッフルーム	3
⑫会議室	15
⑬管理室	1
⑭エレベーター	11
⑮廊下	4
⑯手術室(小手術室含む)	8
⑰透析室	1
⑱ICU/CCU	4
⑲中央採血室	4
⑳中央検査室	3
21リハビリステーション	1
22その他()	2
合計	125

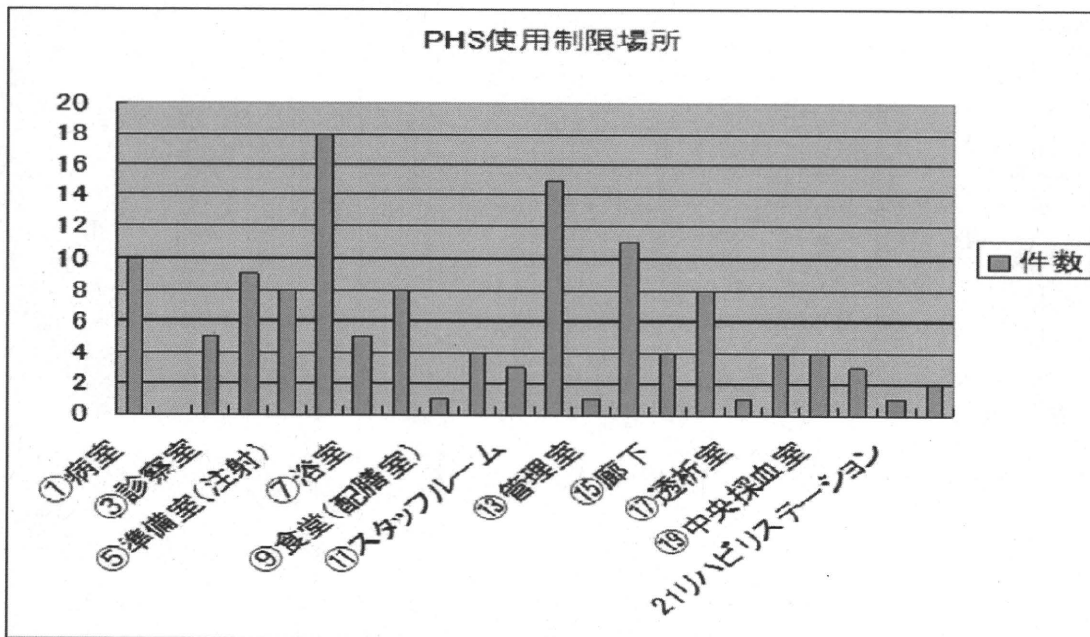


図 2-7. PHS使用制限場所に関する統計について

3. アンケート結果について(24時間分布に関する検討)

3-1. 24時間の時間帯別集計について

時間帯別集計では、1日中電話で業務が中断されて困るケースがあるが、日中の業務時間帯に2つのピークがある点の特徴である。また、中断されて困るケースのみに着目すると、夜間の20時を中心にピークがある点の特徴である。(表3.1、図3.1-1~2)

3-2. 業務内容別中断状況について

看護師長の場合、困るケースが多かったのは、記録中(カルテ入力など)が特段に多く、その次がスタッフ間の対応中であった。副看護師長の場合、看護ケア業務中、記録中(カルテ入力など)が困るケースが多かった。リーダー看護師の場合、副看護師長同様、看護ケア業務中、記録中(カルテ入力など)が困るケースが多かったが、リーダーの特徴として病棟回診中がかなり多かった。最後に、リーダー以外の看護師の場合、リーダー同様、看護ケア業務中、記録中(カルテ入力など)が特段に困るケースが多かったが、リーダーに多かった病棟回診中は傾向が見られなかった。(図3.2-1~4)

3-3. ナースコール対応 PHS および非対応

PHSにおける24時間分布について

ナースコール対応 PHS における困るケースは、ほぼ1日中傾向が見られるが、特に夕方から夜間にかけてが顕著であった。また、ナースコール非対応 PHS における困るケースは、日中の時間帯にその傾向が見られる。その理由は非対応 PHS

が主に管理者サイドが保有している場合が多いからと思われる。(図3.3-1~2)

3-4. 24時間の業務内容別中断状況について
以下の特徴的な部分について箇条書きする。(図3.4-1~14)

- ・困った状況ではないが、PHSによる連絡が多いことが分かる。(図3.4-1)
- ・処置実施中は、朝、昼、夕の時間帯に業務が行われており、その時間帯に困った状況が発生していることが分かる。(図3.4-4)
- ・患者面接中についても、午前、夕方に困る状況が多く見受けられる。(図3.4-5)
- ・看護ケア業務中の中断は、ほぼすべての時間帯で見受けられるが、特に夕方の時間帯に多い。(図3.4-7)
- ・注射業務(患者実施)および注射業務(注射準備)に関しては、ほぼすべての時間帯で中断が見受けられるが、特に患者実施中は、深夜3時ころも結構多いことが見受けられる。(図3.4-8~9)
- ・記録中(カルテ入力など)に関しては、ほぼすべての時間帯で中断が見受けられるが、特に夜間10時ころがそのピークであることが特徴であろう。(図3.4-14)

3-5. 場所別24時間の分布について

場所別の PHS による中断に関しては、ほぼ看護業務のそれぞれの場所における状態を示しており、それなりに納得できる状況を示している。一部の場所では、ある特定の時間帯のみが中断されているように示されているが、アンケート上の問題か

と思われる。今後、このデータを基にさらに精査するとともに、アンケートの質問の形式、対象へ

の説明、アンケート内容の理解度の向上などを検討していく必要がある。(図3. 5-1~14)

表3. 1 24時間の時間帯別集計

(時間帯欄の、「0」:0時-1時、「23」:23時-24時)

総数	1472	
時間帯	困る件数	困らない件数
0	30	
1	19	
2	15	
3	22	
4	19	8
5	19	3
6	25	8
7	32	
8	50	19
9	35	
10	54	47
11	49	54
12	14	
13	41	
14	42	
15	36	34
16	44	50
17	46	44
18	63	22
19	76	
20	55	28
21	31	16
22	42	
23	30	5
合計	889	338

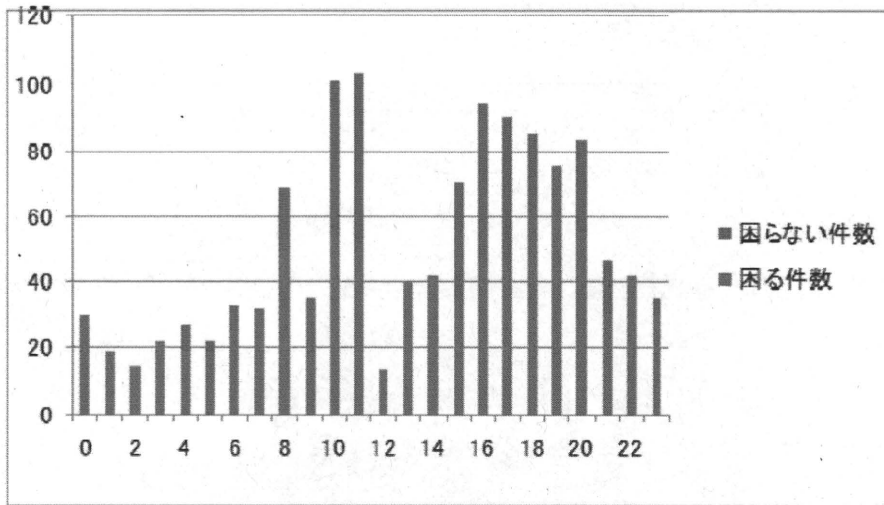


図3. 1-1 24時間の時間帯別グラフ

時間帯別集計では、1日中電話で業務が中断され困るケースがあるが、日中の業務時間帯に2つのピークがある点の特徴である。

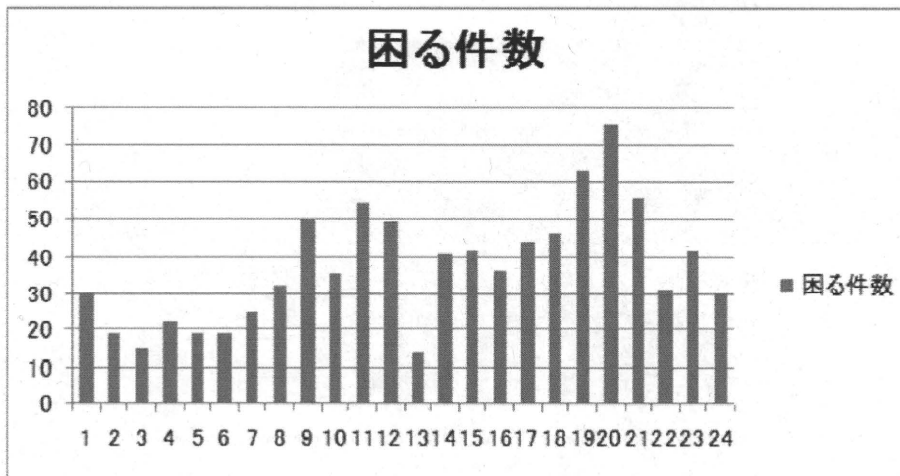


図3. 1-2 24時間の時間帯別グラフ (困る件数のみ)

時間帯別集計では、1日中電話で業務が中断され困るケースがあるが、夜間の20時を中心にピークがある点の特徴である。

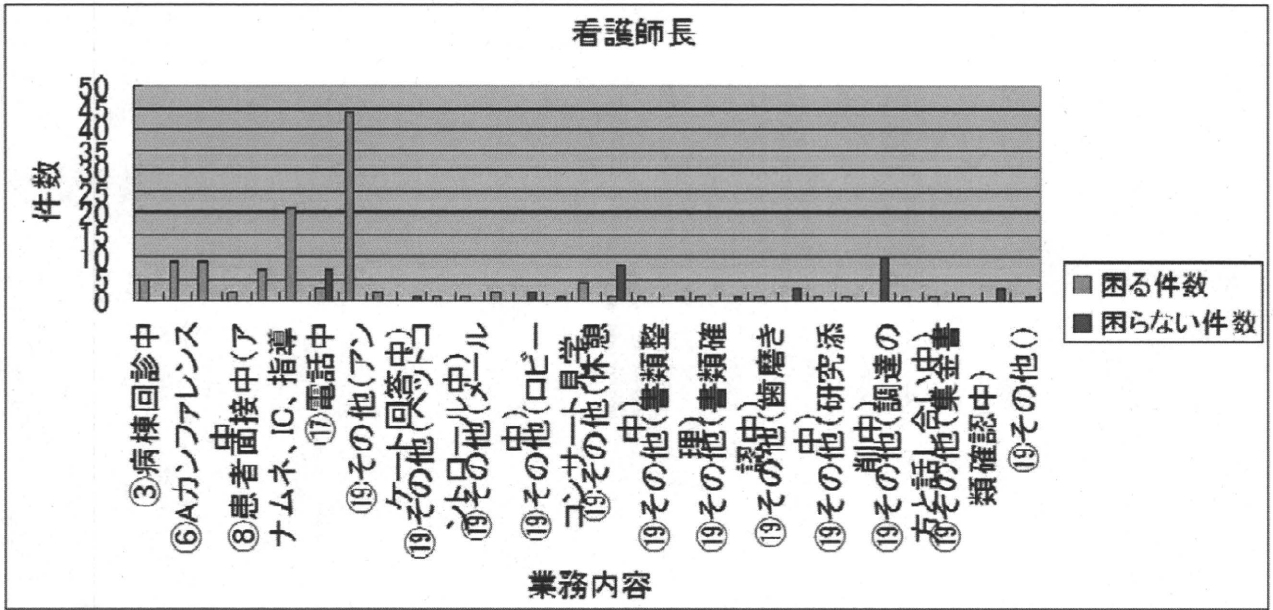


図3. 2-1 業務内容別中断状況（看護師長の場合）

※困るケースが多かったのは、記録中（カルテ入力など）が特段に多く、その次がスタッフ間の対応中であつた。

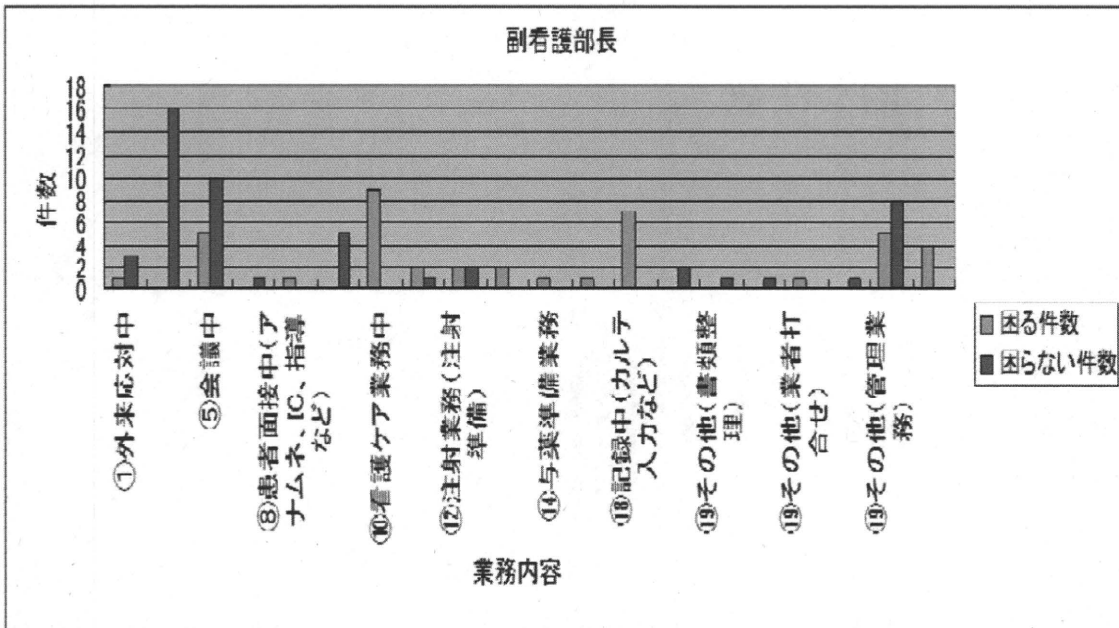


図3. 2-2 業務内容別中断状況（副看護師長の場合）

※看護ケア業務中、記録中（カルテ入力など）が困るケースが多かった。

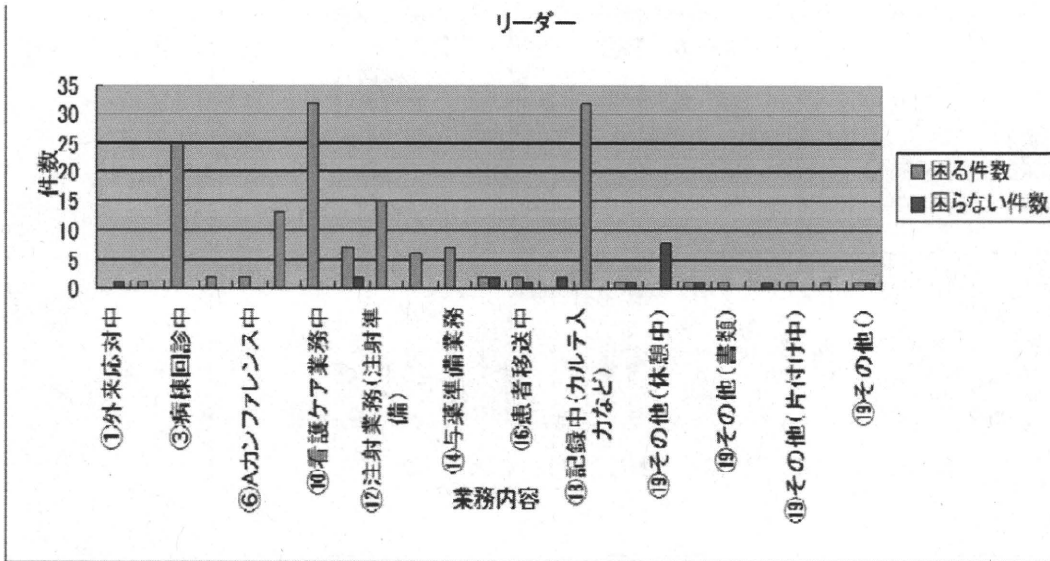


図3. 2-3 業務内容別中断状況 (リーダー看護師の場合)

※副看護師長同様、看護ケア業務中、記録中(カルテ入力など)が困るケースが多かったが、リーダーの特徴として病棟回診中がかなり多かった。

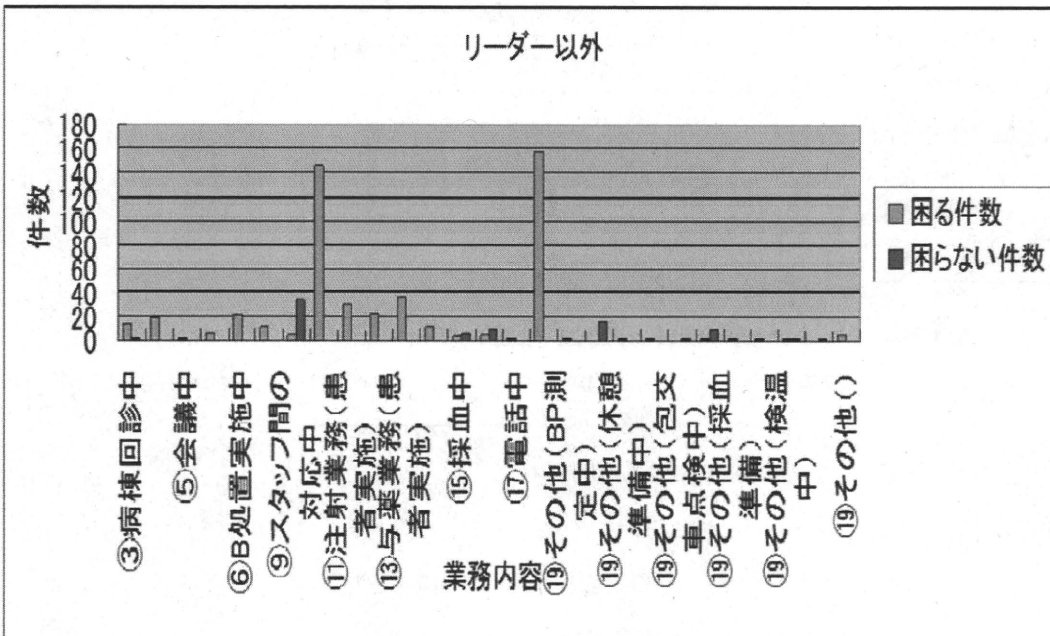


図3. 2-4 業務内容別中断状況 (リーダー以外の看護師の場合)

※リーダー同様、看護ケア業務中、記録中(カルテ入力など)が特段に困るケースが多かったが、リーダーに多かった病棟回診中は傾向が見られなかった。

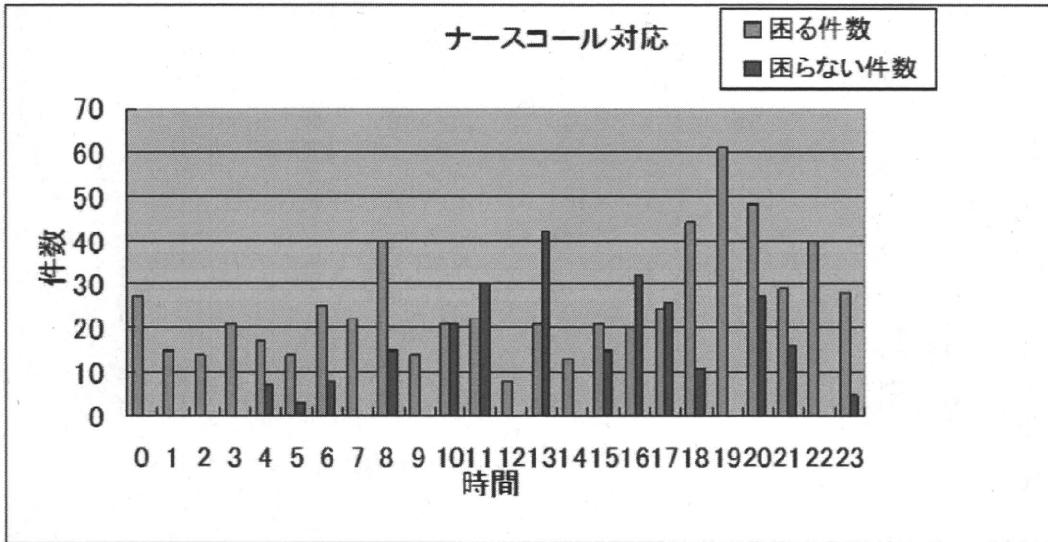


図 3. 3-1 ナースコール対応 PHS における 24 時間分布

※ナースコール対応 PHS における困るケースは、ほぼ 1 日中傾向が見られるが、特に夕方から夜間にかけてが顕著であった。

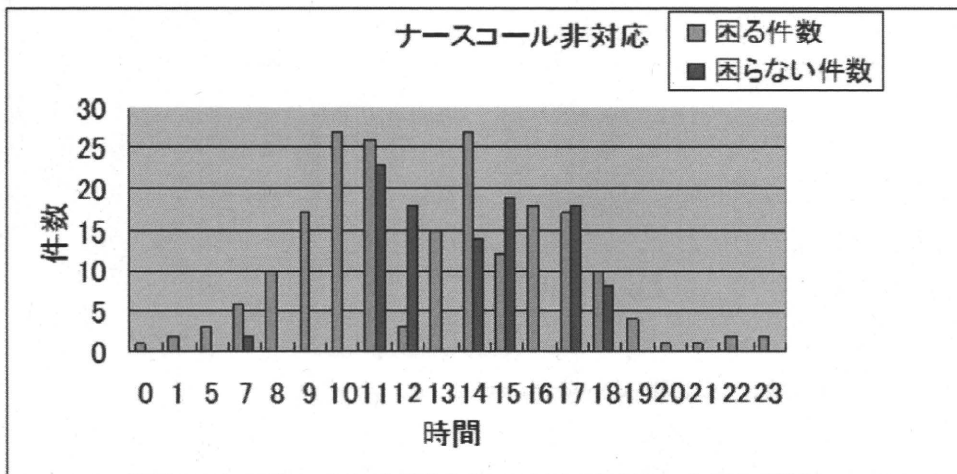


図 3. 3-2 ナースコール非対応 PHS における 24 時間分布

※ナースコール非対応 PHS における困るケースは、日中の時間帯にその傾向が見られるが、それは非対応 PHS は主に管理者サイドが保有している場合が多いからと思われる。

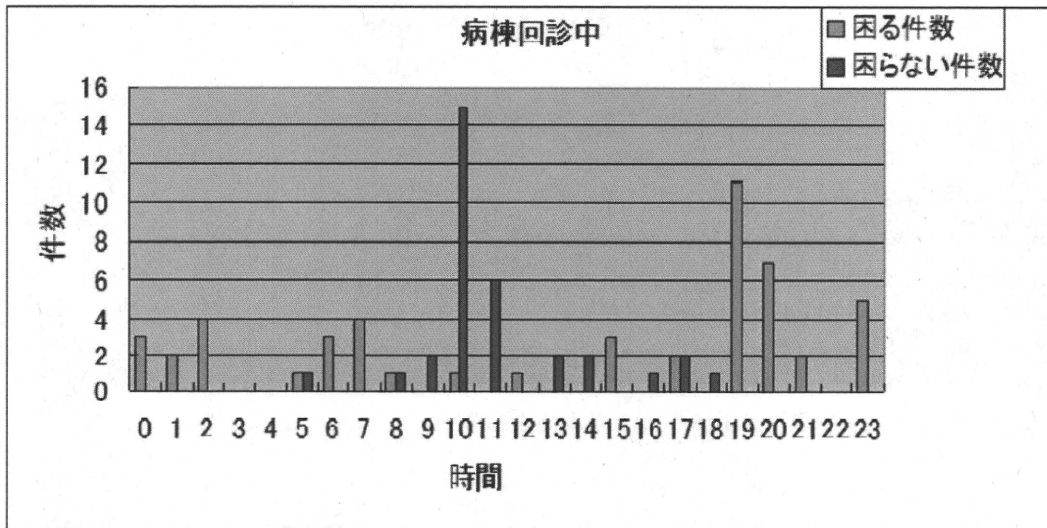


図3. 4-1 24時間の業務内容別中断状況 (病棟回診中)

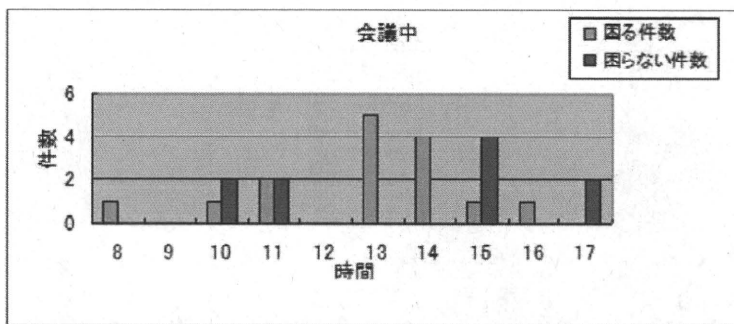


図3. 4-2 24時間の業務内容別中断状況 (会議中)

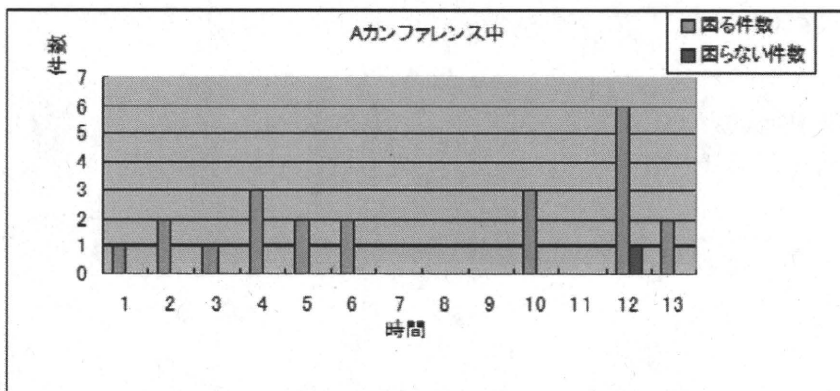


図3. 4-3 24時間の業務内容別中断状況 (カンファレンス中)

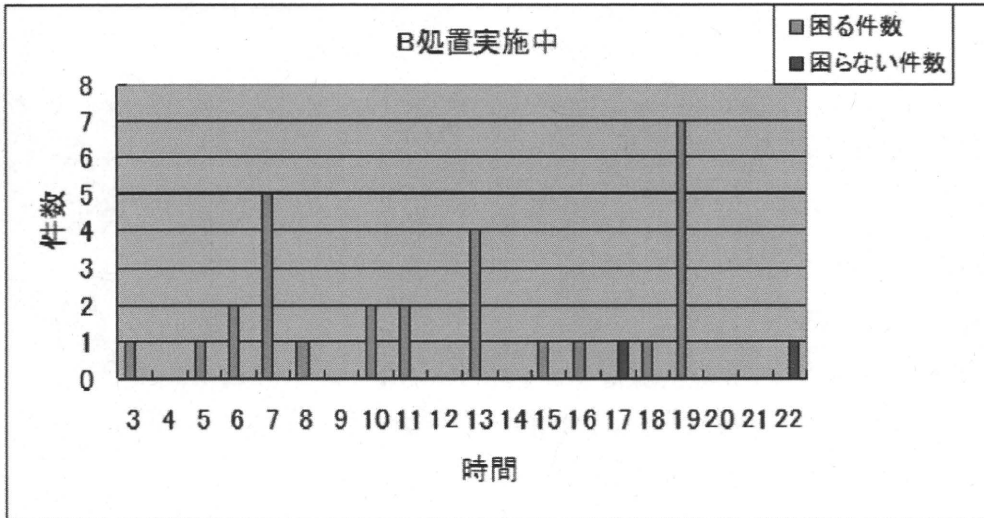


図3. 4-4 24時間の業務内容別中断状況（処置実施中）

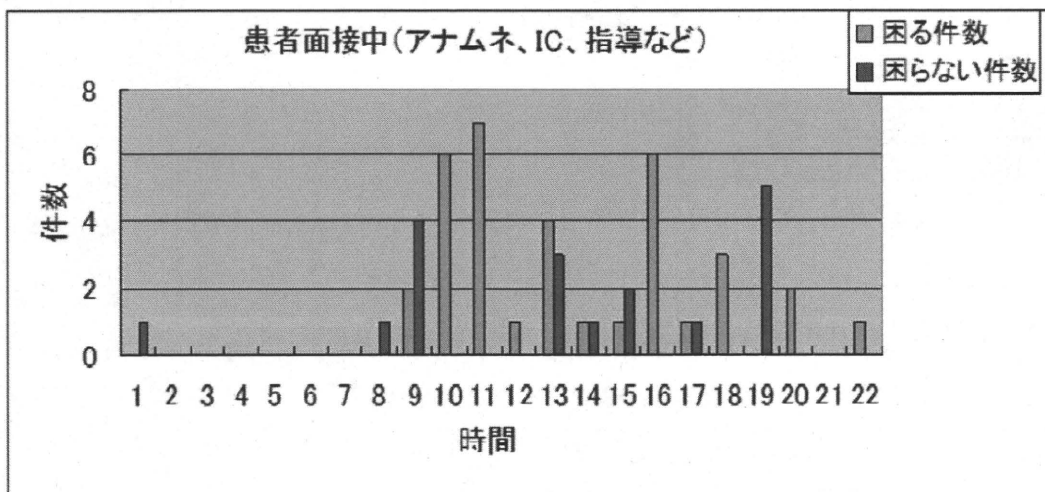


図3. 4-5 24時間の業務内容別中断状況（患者面接中）

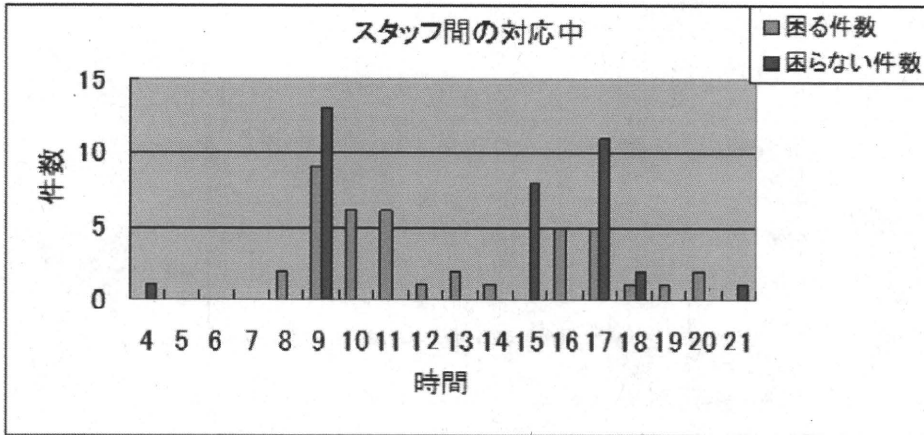


図3. 4-6 24時間の業務内容別中断状況 (スタッフ間の対応中)

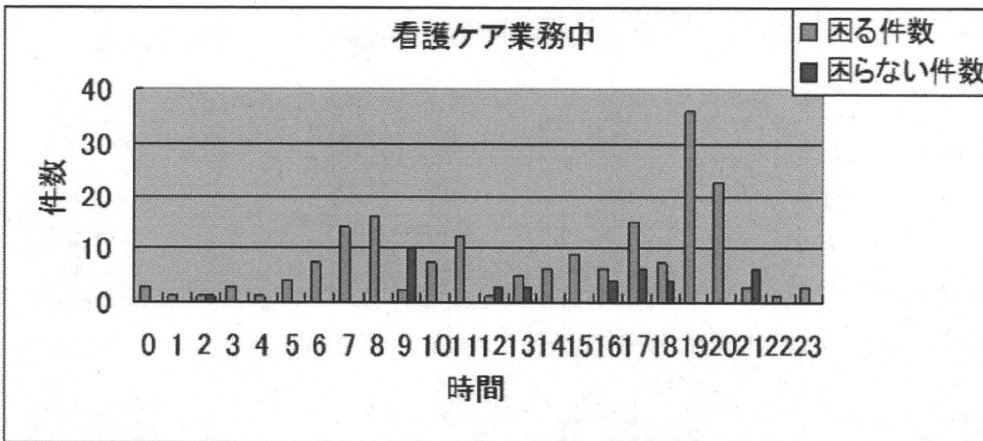


図3. 4-7 24時間の業務内容別中断状況 (看護ケア業務中)

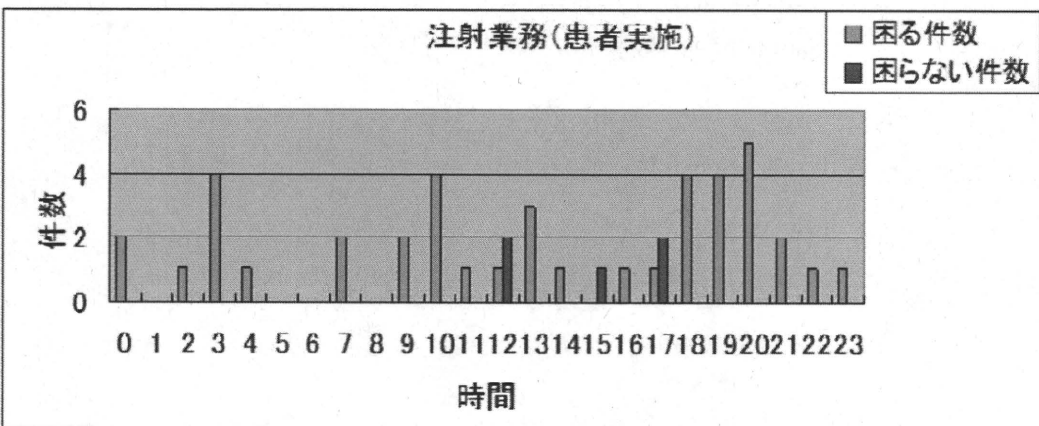


図3. 4-8 24時間の業務内容別中断状況 (注射業務 (患者実施))

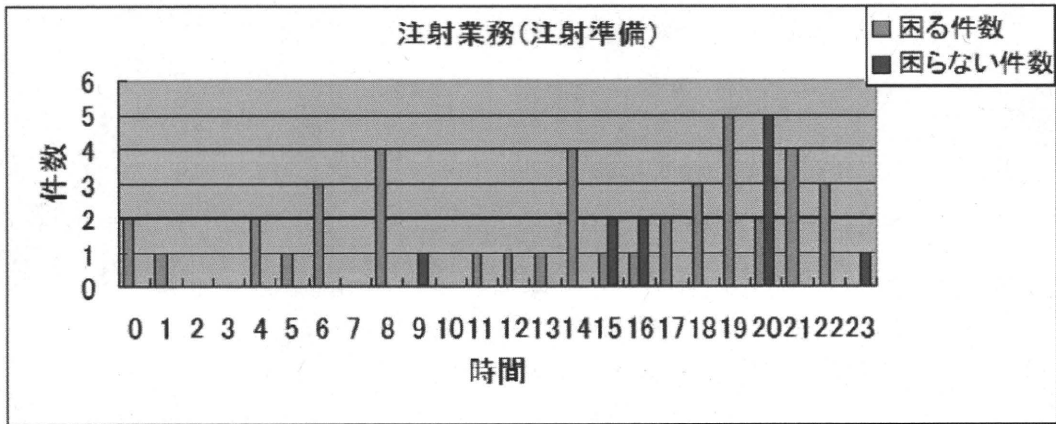


図3. 4-9 24時間の業務内容別中断状況(注射業務(注射準備))

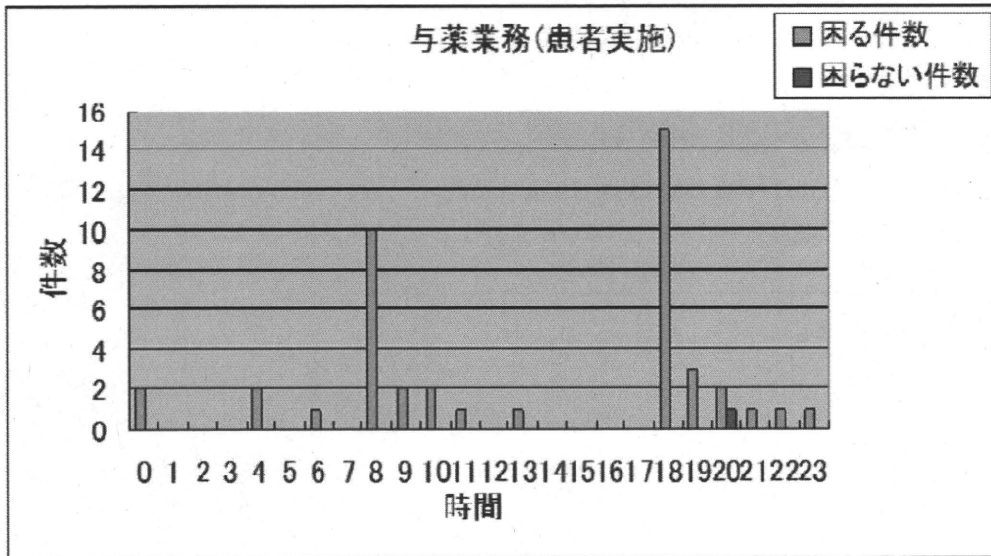


図3. 4-10 24時間の業務内容別中断状況(与薬業務(患者実施))